

中国春季リーグ入替戦結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

5/17 に広島大学北体育館において、中国春季リーグ入替戦が開催されました。

広島大学女子の結果は、以下のとおりです。

vs 広島国際大学

●0-3 (23-25、15-25、17-25)

(中国学連 HP)

<https://chugoku.hiroshima-u.ac.jp/league-haru-2025-4.html>

3週間前のリーグ戦では、速さよりもスパイカーがきちんと飛んで打つことに主眼が置かれていましたが、この3週間で時間の使い方に変化が見られ、1部で4勝をあげた相手にも臆することなく、真っ向勝負で勝ちに行くバレーボールが出来たことに今年のチームの大きな可能性を感じました。点差以上に差があった内容ではありましたが、新チームとして始動した頃を考えると驚くほど力をつけており、4年生の東(愛媛・宇和島東高校)、2年生の西岡(兵庫・姫路高校)を中心とした考える練習が着実にチームの力として根付き始めています。雨上がりの体育館で湿度が高く蒸し暑い状況で、2本目はいつも以上に難しい環境でしたが、セッターの大石(2年・宮崎・延岡高校)は我慢強くトスを上げ続け、チーム全体でもリーグ戦で実践した「スパイカーにきちんと打たせる」ことが徹底できていました。一つできたら一つできなくなる、ではなく、一つずつできることが確実に増えているのはチームとして非常に素晴らしく、しかし、それが当たり前ではないことは、日々練習する現役生自身が誰よりも感じているはずで、上半期はこれから先も試合が続きますので、長期的な目標と短期的な目標をチーム内で繰り返し確認して、反省の質を高められるように意識することが大切です。

ポジション別で相手と比較すると、全てのポジションで相手の方が上ですが、だからと言って勝ち目がないかと言うとそうでもないことがバレーボールの醍醐味の一つです。1セット目は拮抗した展開でも決め手が確立していた相手に余裕がありましたが、むしろ点差が離

れた 2 セット目以降に気持ちの波が見られ、サブメンバーの活躍と広大の流れを切るミスがなければ試合展開は変わっていたように思います。広大はこれから先、プレーの精度を高めることも必要になりますが、すぐにできることとしてはバックライトにボールを運ぶ意識と巧みさが足りていないと感じます。チャンスボールを返すだけのときにコートの中やフロントに返している場面をよく見かけますが、セッターとしては自分の後ろから来るボールをセンターの速い攻撃と合わせるのは非常に難しいことなので、相手の攻撃の選択肢を減らす点で、サーブ、スパイク、チャンスの全てでライト側の奥に運ぶ意識と技術を高めないといけません。また、相手の攻撃の選択肢を減らすということは、ブロックの的を絞ると言うことですが、ブロック力に関しては実は 1 部でも 2 部でも大差がなく、身長差はあってもただ手を出しているだけの選手がほぼ全員で、中国学連のチームが他地区で勝てない大きな要因となっていますが、2 部の広大にとってはブロック力を高めることが上に行くための大きなチャンスとも言えます。現状、相手との駆け引きのレベルにまで達していませんので、今ワンタッチや相手にもらわれているボールは、本来は得点に変えないといけないうボールばかりです。いきなり駆け引きを意識しても上手くなりませんので、ブロックもしっかりと順序立てて、見るところを変え、手を出す意識を変え、と一つずつステップアップして欲しいと思います。

これで約 1 か月間の春季リーグ戦も無事に閉幕しました。

入替戦を除いては気候に恵まれ、ワイピングもほとんどなしで試合が進みましたが、2 週目の女子は最終試合が 20:35 に終わるなど今大会もタフな大会となりました。

会場等にてご支援ご声援いただいた同窓生の皆様、また、中国学連を支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

リーグ戦や入替戦が同窓生の集まる場となっていることは大変嬉しく、貴重な時間を割いていただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

今週末からは岡山県で中四国大会が開催されます。

5 月 24 日 (土)

<男子：岡山大学第二体育館>

予選 1 回戦 vs 岡山大学 (B コート 第 1 試合)

(敗れた場合：B コート 第 5 試合：松山大学と広島工業大学の試合の敗者)

<女子：岡山大学清水記念体育館>

予選 1 回戦 vs 福山平成大学 (C コート 第 3 試合)

(敗れた場合：C コート 第 5 試合：徳島文理大学と川崎医療福祉大学の試合の敗者)

引き続きよろしくお願いいたします。